

こんにちは

-No.25-

山田たか子事務所

TEL 395-4973



日本共産党 東村山市議会議員

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6

山田たか子です

東村山の学校を取り巻く教育環境～その①

～未来を支える子ども達に必要な教育と環境を～

公立学校の先生に
「1年単位の變形労働時間制」
を導入するって!?

先生の長時間労働が問題となっており、
その解消として国が提案している

「1年単位の變形労働時間制」



<繁忙期>→→→1日10時間労働が認められる

<閑散期(夏休み等)>→→→短時間勤務や休暇を取ることができる

繁忙期と閑散期を1年単位で考えると

1年間の労働時間の平均を1日8時間にするという内容です。

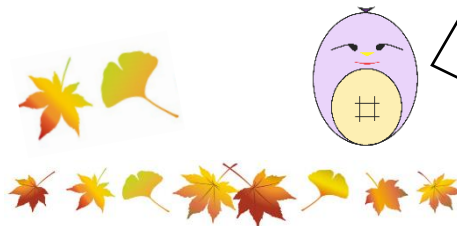
變形労働時間制によって、改善につながるのでしょうか?

実態は、長時間労働を認める制度となります。なぜなら…
そもそも人間の身体は、閑散期で回復できるわけではありません。

先生が疲弊する状況下で、子ども達の教育はどうなるのでしょうか。
長時間労働の解決には、先生を増やす事が最優先だと考えます。

私が今年の夏休みに
学校を訪問した時、
先生方は研修や部活
活動、来期の授業準備
など、日ごろ行えない
業務をされていました。
実態は「閑散期」で
はありません。

一人ひとりの子ども達に
ゆき届いた教育を!
全学年で1クラス35人学級へ



市内小学1・2年生と中学1年生は35人学級(1クラス35人以下)です。
けれども、学年が上がると40人学級となります。

一人ひとりが違ってあたり前 多様性を認め合える社会を

子ども達一人ひとりに合った教育を行う為には、小規模学級が必要です。

世界の主要国では30人学級があたり前となっている中、

「東村山でも実現させたい!」

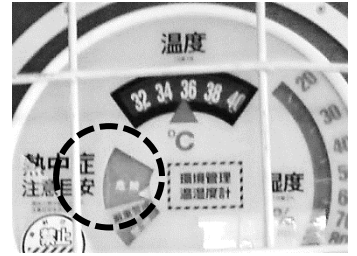
今、学校で働いていた先生達が先頭となって運動を広げています。



東村山の学校を取り巻く教育環境～その②～

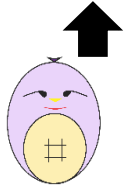
災害の避難所として利用される小中学校体育館
一刻も早い空調設備の設置を!

市内小中学校体育館には、空調設備が設置されていません。当市では今年の夏、中学校体育館の空調設備設置判断の調査を終えましたが、まだその先は見えません。



昨今の異常気象による酷暑・厳寒は健康・命をも脅かします

真夏の夜7時。なんと、体育館の気温は約36℃。
『熱中症注意目安』は【危険】を示していました!



「ただいま〜!」と、家庭のようにホッとできる場所、
児童クラブの民営化

「少子化」と言われる一方で共働き世帯が増え、市内では小学校下校後の学童保育を担う児童クラブが不足しています。2020年4月から、秋津・大岱・北山・回田小の4校で、学校校舎内に児童クラブが開設され、運営は公募で決まった民間事業者が行います。都内ではすでに民間運営が行われている自治体もあり、学童の月額保育料に料金を追加して、英語や学習等の習い事を行っている事業者もあります。ホッとできる場所である児童クラブが営利目的となれば、子ども達の心にも大きな影響を及ぼします。

全生園『人権の森』構想とは?

「市は『人権の森として守る』と言うけれど、
具体性がない。本気で考えてくれているのか。」

入園者から心配される声を聞きました。東村山市は2009年に「いのちとこころの人権の森宣言」をしています。皆さんも耳にしたことがあると思います。けれども、その具体的な人権の森構想はこれからです。11月1日～3日間、地域に開かれ多くの方が足を運ばれた全生園まつりが開催されました。



入園者の「ついの住処(すみか)として、安心して過ごしたい」との願いに応えるには、療養所を医療施設として維持する事が不可欠です。例えば、その医療施設を地域に開放し、多くの地域住民が利用できれば「療養所ごとの社会復帰」が実現します。地域に根差すことで、未来へつながる『人権の森構想』の一步となります。そのためにも今、早急に具体的な話し合いが必要ではないでしょうか。

東村山民報 2019年11月号外 山田たか子 活動紹介です。

◇東村山民報社◇ 小松恭子 東村山市美住町1-2-5

❖ ツイッターやっています。

❖ フェイスブックも始めました。

